

氏名	森 口 隆 彦		
学位の種類	医 学 博 士		
学位授与番号	乙 第1081号		
学位授与の日付	昭和54年12月31日		
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第5条第2項該当)		
学位論文題目	コラーゲン架橋物質ピリジノリンに関する研究		
論文審査委員	教授 野原 望	教授 水原 舜爾	教授 小川 勝士

学位論文内容の要旨

新らしく見いだされたコラーゲン架橋物質ピリジノリンについて、ラットおよびヒトの各種組織を使用し、その組織内分布、加齢による変化、また架橋形成阻害剤による合成の影響、および肥厚性癬痕やケロイドなど過剰なコラーゲン増殖時におけるピリジノリンの存在を明らかにすることを目的とした。

その結果、組織内分布においては、骨、軟骨、アキレス腱などに多く、皮膚にはほとんど存在しなかった。加齢による変化では、従来知られていたコラーゲン還元性架橋物質とは明らかに異なり、ラットでは加齢とともに増大し、ヒトでは20歳前後まで増大し、以後徐々に減少した。架橋形成阻害食を与えたラットでは、 β -アミノプロピオニトリル食において顕著な合成障害が見られた。また、正常皮膚にはほとんど存在しなかったピリジノリンが、肥厚性癬痕やケロイドにおいて、有意の量で含有されていることが明らかとなった。さらに肥厚性癬痕においては、真皮中層の結節部位に最も多く存在していた。これらより、ピリジノリンが各種組織の硬軟、加齢および皮膚の癬痕化に何らかの影響を与えていることが示唆された。

論文審査の結果の要旨

本研究は、コラーゲン非還元性架橋物質ピリジノリンの、ラットおよびヒトにおける組織内分布、加齢による変化、架橋形成阻害剤による影響、また肥厚性癬痕およびケロイドに分布をそれぞれ明らかにしたもので、極めて重要斬新な知見をあげたものと認める。癬によって、本研究者は医学博士の学位をうる資格があるものと認める。